

専修コース申請書（新規）

専修コース名【 内科認定医・血液内科専門医養成コース 】

- ・募集されるコース毎に記入して下さい。
- ・貴施設の専修コース全体のスケジュールを表示する表や模式図を添付して下さい。

1. 診療科（専門領域）

内科一般（代謝内分泌科、血液内科、腎臓内科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、アレルギー・膠原病）

血液内科

2. コースの概要

総合内科プログラム（2 年間）及び血液内科専門プログラム（3 年間）により構成される。

3. 取得資格

日本内科学会認定内科医、日本血液学会専門医

4. 長期目標

前半の 2 年で内科一般の知識、技術を幅広く習得する。後半の 3 年で血液内科分野における専門性を持った医師となる。内科専門医及び日本血液学会専門医を取得することを目標とする。

5. 取得手技

- ・基本的な血液内科医としての姿勢、基本的知識、技能を身に付けさせる。
- ・化学療法の計画立案、安全実施ができるようにする。
- ・造血幹細胞移植の計画立案、安全実施ができるようにする。
- ・研修終了時には、血液内科におけるサブスペシャリスティの確立ができるようにする。
- ・日本血液学会専門医の受験資格が得られるようにする。
- ・学会発表、論文の作成も行えるようにする。

6. 期間

5 年間

7. 募集人数

1 名

8. 診療科（または関連診療分野）の実績と経験目標症例数

症例数と手術件数の調査年度（平成 25 年度）

主要疾患	入院数（年間）	経験目標症例数（5 年間）
急性骨髄腫白血病	25 人	30 例
急性リンパ性白血病	10 人	10 例
骨髄異形成症候群	10 人	10 例
成人 T リンパ性白血病	3 人	3 例
悪性リンパ腫	55 人	60 例
多発性骨髄腫	70 人	30 例
再生不良性貧血	3 人	3 例
特発性血小板減少性紫斑病	10 人	10 例
自家移植	24 人	10 例
同種移植	1 人	1 例

手術	件数（年間）	経験目標件数（前半 2 年間）
骨髄穿刺	200 例	200 例
骨髄生検	100 例	100 例

9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 3 名

専修の指導にあたる医師 3 名

主として専修指導にあたる医師の氏名

関口 直宏

〃

診療科経験年数

18 年

〃

資格

日本内科学会認定内科医、指導医
日本血液学会専門医、指導医
医学博士、日本骨髄腫学会代議員

施設認定

日本血液学会研修施設

10. コンセプト

臨床のみならず学会発表等により、広い視野で専門性に富む臨床医を育む。

個々人に応じた柔軟なプログラムの設定

11. 共通領域研修について

- ・毎月 抄読会の開催
- ・毎週 血液カンファレンス